

「口はわざわいの元」という言葉を皆様もお聞きしたことがあると思います。辞書によると、「不用意な発言によって思いがけない災難を招くこと」とあります。

ある発言が批判された場合、「深い意味がない」とか、「そういう意味ではない」とか、「そう

いう意味で言ったのではないではない」というような弁解を今まで何度となく聞いてきました。あえて、相手を貶めようとする発言もありますが、ほとんどは、相手を深く傷つけようという意思はないかもしれませ

せん。問題は傷つけているにも関わらず、

全く気付いていない場合です。数か

えます。

月前、「女性の話は長い」とか「わかまえている女性」と発言して大問題になり、謝罪会見でもいわゆる「逆切れ」をした方がおられました。よく聞く弁解に「皆様に誤解を

言葉は目に見えない心の中を表現する行為です。全く思っていないことは口には出ません。心の底にある思いが様々な言葉にあらわれます。さらに、使う言葉によってもその人の心理があらわれるのです。では、美しくて優しい言葉には

口はわざわいのもと

与えてしまった」というのがあります。誤った理解をさせてしまっ

欺師はすべてと言っていいほど、人に不快な発言はしないでしよう。

て申し訳ないという意味でしょう。

人を心地よくさせる必要があるからです。言葉とは本当に難しいです

私たちが誤った理解をしたのでしようか。そうではありません。発言

すね。

(山崎龍法)

からその人の本心や立ち位置が見

